

中間レポート骨子案の作成について

1. 中間レポート骨子案の内容について

- (1) 生活の安全と豊かな環境を目指す小委員会中間レポート骨子案（以下「中間レポート骨子案」という。）は、「第1 九州圏における現状と課題」「第2 九州圏の課題への対応の方向性」「第3 新しい九州像」までの各項目を記述する（別添4参照）。
- (2) 中間レポート骨子案の作成にあたっては、検討小委員会の議論・意見並びに「地方支部部局、県・政令市等及び首長への論点に対する意見聴取」をとりまとめた16の論点等を踏まえ作成する。
- (3) 検討小委員会において結論に至らなかった事項については、各論併記により、今後の本協議会における議論の助けになるよう記述する。
- (4) 予め委員等に案文が存在する場合は、その案文を中間レポート骨子案に充当または転用または引用する場合がある。

2. キックオフレポート骨子案との関係について

- (1) キックオフレポート骨子案の作成は、プレ幹事会において3小委員会の中間レポート骨子案をとりまとめて作成する。
- (2) 中間レポート骨子案の作成にあたっては、キックオフレポート骨子案構成図（案）（別添1参照）の關係に配慮しながら、他小委員会における中間レポート骨子案構成図（案）の記載内容（別添2、別添3参照）等を踏まえ項目設定を行う。

（備考）生活の安全と豊かな環境を目指す小委員会のスケジュール（案）

平成19年2月15日（木）	学識者懇談会小委員会座長会議 基本的考え方 審議の進め方 等
平成19年3月19日（月）	第1回検討小委員会 これまでの経緯 検討小委員会の進め方 九州圏の現状と課題 等
平成19年5月 9日（水）	第2回検討小委員会（今回） ゲストスピーカーからの提言 九州圏の現状と課題 自立的発展に関する対応の方向性 中間レポート骨子案の作成について 等
平成19年6月下旬頃	第3回検討小委員会 プロジェクトの概念について 中間レポート原案の審議 等
平成19年7月下旬頃	第4回検討小委員会 中間レポート案の審議 等

第1 九州圏における現状と課題

(1) 九州圏の圏土構造の位置づけと特徴
 発展する東アジア経済圏に開かれた国際的な九州圏
 国内の食を支える地域、一大観光地としての九州圏
 発展する九州北部の都市圏と地域を支える中核、中心都市
 維持・保全が求められる中山間地域、離島等
 大規模産業の集積及び地域産業の高付加価値化
 災害外力の著しい九州圏

(2) 九州圏を取巻く経済社会情勢の転換
 本格的な人口減少社会の到来、急速な高齢化
 労働力人口の減少下での農林水産業等の停滞
 東アジアの経済発展と九州圏の国際化
 高度情報化社会の進展と情報格差
 安全・安心、環境等に対する意識の変化
 多様な価値観、ライフスタイルへのニーズの高まり



(3) 九州圏をめぐる様々な課題
 東アジアへのゲートウェイとしての役割と九州圏土の発展
 九州圏の圏土構造を踏まえた人口減少下における新たな成長戦略の構築
 災害外力が著しい九州圏への対応と安全・安心できる生活の実現
 安全・安心、環境、生活等の多様な価値観への対応と新たな地域づくりの推進

第2 九州圏の課題への対応の方向性

----- (国際化、人口減少に対応する九州圏の形成) -----

- (1) 東アジアの中での九州圏の個性と魅力の創出
 東アジアとの結びつきと九州圏産業の強化
 ・産業集積を活かした新たな産業展望
 ・新産業を核とした産業振興
 ・ものづくり基盤の強化 等
 東アジアに開かれた交流・連携の推進
 ・東アジアにおける九州圏の自立と連携
 ・観光資源等による魅力創出 等
 東アジアの玄関口としての圏土構造の転換
 ・東アジアの玄関口としての社会基盤の整備 等
- (2) 自立的な発展を形成する地域力の結集
 それぞれの地域独自の魅力を活かした地域の形成
 ・地域資源の発掘、再評価、磨きによる地域力の強化 等
 多様な機能が集積する都市と自然豊かな地域の互恵関係の形成
 ・持続可能で暮らしやすい都市圏の形成
 ・美しく暮らしやすい農山漁村の形成と農林水産業の新たな展開
 ・自立的な地域の機能補完的・戦略的な連携
 ・維持・保全が危ぶまれる集落における将来選択 等
 持続的な成長を実現する九州圏の形成
 ・持続的な成長を牽引する都市圏の形成
 ・多種多様な人材が集積する産業構造の形成 等
 地域を支える産業の振興と安定的発展
 ・農林水産業等の地域を支える産業の振興と安定的発展 等

----- (安全で世界に誇れる美しい九州圏の形成と継承) -----

- (3) 災害に強く暮らしやすい九州圏の形成
 減災の観点を重視した災害対策の推進
 ・近年の気象変動等に備えたハード対策の推進
 ・減災の観点を重視したソフト対策の推進 等
 日々の暮らしを支える安全・安心の確保
 ・安全・安心を確保する九州圏の圏土構造の形成
 ・中山間地域、離島等におけるサービスの確保
 ・安全・安心な食を支える九州圏の継承 等
- (4) 世界に誇れる美しい九州圏の形成と継承
 循環と共生を重視した美しい九州圏の形成
 ・多様で美しい調和の取れた九州圏の保全と継承
 ・国際的な環境問題への取り組み 等
 美しい九州圏を支える水循環系の形成
 ・流域圏における健全な圏土利用と水循環系の構築
 ・海洋・沿岸域圏の総合的な利用と保全 等

- (5) 多様なライフスタイルを実現する地域づくり
 多様なライフスタイルを実現する取り組みの推進
 ・多様なライフスタイルを実現する交流・連携と定住の促進
 ・住民主体の発意・活動による自助努力による地域づくり 等

ゆとりある子育て環境の創出
 ・地域の子育て力の強化 等

第3 新しい九州像

- (1) 新しい圏土の形成に向けて
 基本概念 将来像 視点

第4 九州圏の発展・成長を支えるプロジェクト概念

- (1) 九州圏のプロジェクトへの取り組み
- (2) 高速交通体系等の整備
- (3) 陸海空のシームレス化
- (4) 光ファイバーネットワーク
- (5) エコネットワークの構築
- (6) 産業クラスターの集積
- (7) 圏土の魅力向上促進

プロジェクト概念の記載例であり、審議未了のため今後検討すべき事項である。また、プロジェクトの概念は中間レポート骨子案には含まない。

第1 九州圏における現状と課題

(1) 九州圏の圏土構造の位置づけと特徴
 発展する東アジア経済圏に開かれた国際的な九州圏

- ・東アジアと九州圏の歴史的つながり
- ・東アジアへの窓口としての九州圏 等
- ・発展する九州北部の都市圏と地域を支える中核、中心都市
- ・九州北部の都市圏への人、モノ、情報等の集中
- ・中核、中心都市の中心部の空洞化 等
- ・国内の食を支える地域、一大観光地としての九州圏
- ・国内の食を支える地域としての重要性
- ・温泉等の地域資源が豊富な九州圏 等
- ・大規模産業の集積及び地域産業の高付加価値化
- ・自動車産業、半導体産業等の集積
- ・安全、安心、環境等新たなニーズに対応した新産業の創出 等

(2) 九州圏を取巻く経済社会情勢の転換
 本格的な人口減少社会の到来、急速な高齢化

- ・東京圏への人口転出と九州北部の都市圏への人口集中 等
- ・東アジアの経済発展と九州圏の国際化
- ・東アジアの著しい経済発展と九州圏の人、モノ、情報の流通、国際化の進展 等
- ・高度情報化社会の進展と情報格差
- ・高度情報化社会の進展と南北間の情報格差 等
- ・労働力人口の減少下での農林水産業等の停滞
- ・農林水産業等の就業人口の減少と新たな取組み 等



(3) 九州圏をめぐる様々な課題
 東アジアへのゲートウェイとしての役割と九州圏土の発展

- ・東アジアの経済発展に対応可能な国際競争力の強化
- ・東アジアにおける九州圏の存在感の向上 等
- ・九州圏の圏土構造を踏まえた人口減少下における新たな成長戦略の構築
- ・基幹都市のさらなる機能強化と九州圏の情報、産業、文化の牽引
- ・地域の魅力創造による既存産業の再生
- ・九州圏の自立に向けた大規模産業の発展と新規産業の創出 等

第2 九州圏の課題への対応の方向性

(国際化、人口減少に対応する九州圏の形成)

(1) 東アジアの中での九州圏の個性と魅力の創出
 東アジアとの結びつきと九州圏産業の強化
 産業集積を活かした新たな産業展望
 新たな価値の創造 / 集積産業の継続的な発展 /
 科学技術のイノベーション 等

新産業を核とした産業振興
 次世代産業の育成 / 東アジアにおける環境循環圏の
 形成 / 産学官、企業間等連携の促進 等

ものづくり基盤の強化
 内発的企業を育成する環境整備 / 知的・産業クラス
 ター等の形成の推進 等

東アジアに開かれた交流・連携の推進
 観光資源等による魅力創出
 地域資源の認識 / 九州観光のブランド化 等

東アジアの玄関口としての圏土構造の転換
 東アジアの玄関口としての社会基盤の整備
 アジアに開かれたネットワークの形成 等

(2) 自立的な発展を形成する地域力の結集
 持続的な成長を実現する九州圏の形成
 持続的な成長を牽引する都市圏の形成
 都市型産業の育成 / 魅力ある都市圏の創出 等

多種多様な人材が集積する産業構造の形成
 人材が集積する産業構造の形成 等

地域を支える産業の振興と安定的発展
 農林水産業等の地域を支える産業の振興と安定的発展
 地域特性を活用した産業振興 / 地場産業を担う人材の
 育成・確保 等

第3 新しい九州像(活力ある経済社会を目指す九州の姿)

(1) 新しい圏土の形成に向けて

活力ある経済社会に関する基本概念 活力ある経済社会に関する将来像

活力ある経済社会に求められる視点

第4 活力ある経済社会を目指すプロジェクトの概念（作成例）

- (1) 九州圏のプロジェクトへの取り組み
 - ・プロジェクトの方向性
 - ・プロジェクトの果たす役割
- (2) 高速交通体系等の整備
 - ・東九州軸の活性化に向けた基盤整備
 - ・地域間連結の促進
 - ・東九州軸の幹線鉄道サービス水準の向上
- (3) 陸海空のシームレス化
 - ・シームレスアジアの推進
 - ・複合一貫輸送の促進
- (4) 光ファイバーネットワークの形成促進
 - ・シームレスアジアを実現する情報基盤
 - ・アジアとのブロードバンド環境一体化
- (5) エコネットワークの構築
 - ・地域内の自然循環・関連を考慮した施策展開
- (6) 産業クラスターの集積と連携・関連の促進
 - ・半導体クラスターの集積促進
 - ・環境クラスターの形成促進
 - ・自動車産業及び部品産業の集積と域内調達の促進
 - ・新産業の創出促進
 - ・商工と連携した高付加価値農業の展開
- (7) 圏土の魅力向上促進
 - ・観光推進のための体制強化
 - ・研究学園都市構想の推進
 - ・大学間の役割分担と連携の強化
 - ・将来を担う人材養成の促進
 - ・アジアから見た住み良さ働きやすさの向上
 - ・東アジアとの交流促進のための基盤整備
 - ・東アジアとの文化・学術連携・協力のための体制整備

プロジェクト概念の記載例であり、審議未了のため今後検討すべき事項である。
また、プロジェクトの概念は中間レポート骨子案には含まない。

第1 九州圏における現状と課題

- (1) 九州圏の圏土構造の位置づけと特徴
 発展する東アジア経済圏に開かれた国際的な九州圏
- ・東アジアと九州圏の歴史的つながり
 - ・東アジアへの窓口としての九州圏 等
 - ・発展する九州北部の都市圏と地域を支える中核、中心都市
 - ・九州北部の都市圏への人、モノ、情報等の集中
 - ・中核、中心都市の中心部の空洞化 等
 - ・維持・保全が求められる中山間地域、離島等
 - ・豊かな自然環境を有する中山間地域、離島半島等
 - ・維持・保全が危ぶまれる集落 等

- (2) 九州圏を取巻く経済社会情勢の転換
 本格的な人口減少社会の到来、急速な高齢化
- ・東京圏への人口流出と九州北部の都市圏への人口集中 等
 - ・東アジアの経済発展と九州圏の国際化
 - ・東アジアの著しい経済発展と九州圏の人、モノ、情報の流通、国際化の進展 等
 - ・高度情報化社会の進展と情報格差
 - ・情報サービス産業の伸び悩み、南北間の情報格差 等
 - ・多様な価値観、ライフスタイルへのニーズの高まり
 - ・自己実現の場としての様々な価値観の発生 等



- (3) 九州圏をめぐる様々な課題
 東アジアへのゲートウェイとしての役割と九州圏土の発展
- ・東アジアにおける九州圏の存在感の向上 等
 - ・九州圏の圏土構造を踏まえた人口減少下における新たな成長戦略の構築
 - ・基幹都市のさらなる機能強化と九州圏の情報、産業、文化の牽引
 - ・多自然居住地域における継続可能な生活圏の再生
 - ・中山間地域、離島半島等の維持・保全への対応 等
 - ・安全・安心、環境、生活等の多様な価値観への対応と新たな地域づくりの推進
 - ・価値観やライフスタイルの多様化に対応した地域づくり
 - ・地縁型コミュニティの再生、子育て環境の再生 等

第2 九州圏の課題への対応の方向性

(国際化、人口減少に対応する九州圏の形成)

- (1) 東アジアの中での九州圏の個性と魅力の創出
 東アジアに開かれた交流・連携の推進
 東アジアにおける九州圏の自立と連携
 東アジアにおける共通の課題への対応 / 地域の魅力による交流・連携の推進 / 観光の振興 等

- (2) 自立的な発展を形成する地域力の結集
 それぞれの地域独自の魅力を活かした地域の形成
 地域資源の発掘、再評価、磨きによる地域力の強化
 既存の地域資源の魅力創出 / 多様な価値の創造 等
 多様な機能が集積する都市と自然豊かな地域の互恵関係の形成
 持続可能で暮らしやすい都市圏の形成
 地方中枢都市、中核都市の対応 / 地方中心都市、中小都市の対応 等
 美しく暮らしやすい農山漁村の形成と農林水産業の新たな展開
 美しく暮らしやすい農山漁村の形成 等
 自立的な地域の機能補完的・戦略的な連携
 機能補完的・戦略的な連携 / 地域間のバランス 等
 維持・保全が危ぶまれる集落における将来選択
 集落等の維持 / 集落存続の将来選択 等

- (3) 多様なライフスタイルを実現する地域づくり
 多様なライフスタイルを実現する取り組みの推進
 多様なライフスタイルを実現する交流・連携と定住の促進
 交流・連携の推進 / 二地域居住等の推進 等
 住民主体の発意・活動による自助努力による地域づくり
 自助努力による地域づくり / 新たな公による地域づくり 等
 ゆとりある子育て環境の創出
 地域の子育て力の強化
 新たな子育て支援 / 職業・家庭の両立支援 等

第3 新しい九州像(自立的発展を目指す九州の姿)

- (1) 新しい圏土の形成に向けて
 自立的発展に関する基本概念 自立的な発展に関する将来像
 自立的な発展に求められる視点

第4 自立的発展を目指すプロジェクトの概念（作成例）

- (1) 九州圏のプロジェクトへの取り組み
 - ・プロジェクトの方向性
 - ・プロジェクトの果たす役割
- (2) 高速交通体系等の整備
 - ・東九州軸の活性化に向けた基盤整備
 - ・地域間連結の促進
 - ・東九州軸の幹線鉄道サービス水準の向上
- (3) 陸海空のシームレス化
 - ・シームレスアジアの推進
 - ・複合一貫輸送の促進
- (4) 光ファイバーネットワークの形成促進
 - ・シームレスアジアを実現する情報基盤
 - ・アジアとのブロードバンド環境一体化
 - ・条件不利地域における基盤整備
- (5) エコネットワークの構築
 - ・地域内の自然循環・関連を考慮した施策展開
- (6) 産業クラスターの集積と連携・関連の促進
 - ・半導体クラスターの集積促進
 - ・環境クラスターの形成促進
 - ・自動車産業及び部品産業の集積と域内調達の促進
 - ・商工と連携した高付加価値農業の展開
- (7) 圏土の魅力向上促進
 - ・観光推進のための体制強化
 - ・将来を担う人材養成の促進
 - ・アジアから見た住み良さ働きやすさの向上
 - ・景観の保全に関する官民連携の推進
 - ・県境を越えた行政間連携の推進

プロジェクト概念の記載例であり、審議未了のため今後検討すべき事項である。
また、プロジェクトの概念は中間レポート骨子案には含まない。

第1 九州圏における現状と課題

- (1) 九州圏の圏土構造の位置づけと特徴
国内の食を支える地域、一大観光地としての九州圏
- ・国内の食を支える地域としての重要性
 - ・温泉等の地域資源が豊富な九州圏 等
 - ・維持・保全が求められる中山間地域、離島等
 - ・維持・保全が危ぶまれる集落の存在
 - ・中山間地域等における社会サービス維持の難しさ
 - ・九州北部、離島等の水循環系における課題
 - ・海洋、沿岸圏土の環境保全の重要性 等
 - ・災害外力の著しい九州圏
 - ・中山間地域、離島半島等の孤立
 - ・頻発する水害、土砂災害 等

- (2) 九州圏を取巻く経済社会情勢の転換
安全・安心、環境等に対する意識の変化
- ・近年の異常気象等による防災から減災への意識の変化
 - ・豊かな水資源、自然環境、景観等への関心の高まり及びそれらの価値の増大 等



- (3) 九州圏をめぐる様々な課題
災害外力が著しい九州圏への対応と安全・安心できる生活の実現
- ・近年の気象変動等に対する柔軟な対応
 - ・減災の観点からの災害対策の必要性
 - ・中山間地域等における社会サービスの確保のあり方
 - ・日本の安全・安心な食を支える地域としての対応
 - ・人間活動と人のプロセスが調和した物質循環系の形成 等
 - ・安全・安心、環境、生活等の多様な価値観への対応と新たな地域づくりの推進
 - ・循環型社会の形成等、新たな価値観への対応
 - ・広域的な環境問題等への対応 等

第2 九州圏の課題への対応の方向性

(安全で世界に誇れる美しい九州圏の形成と継承)

- (1) 災害に強く暮らしやすい九州圏の形成
- 減災の観点を重視した災害対策の推進
 - 近年の気象変動等に備えたハード対策の推進
 - 災害に強い施設等の整備・保全 / 緊急時のリダンダンシー確保 / 施設の点検と老朽化対策 等
 - 減災の観点を重視したソフト対策の推進
 - 住民の防災意識向上 / 広域的な被災情報の共有 等
 - 日々の暮らしを支える安全・安心の確保
 - 安全・安心を確保する九州圏の圏土構造の形成
 - ネットワークのリダンダンシー確保 / ライフラインの多重化 等
 - 中山間地域、離島等におけるサービスの確保
 - 広域的な機能補完 等
 - 安全・安心な食を支える九州圏の継承
 - 食を支える地域としての役割 / 食の安全・安心 等

- (2) 世界に誇れる美しい九州圏の形成と継承
- 循環と共生を重視した美しい九州圏の形成
 - 多様で美しい調和のとれた九州圏の保全と継承
 - 環境・生態系の保全 / 森林、里村の保全 / 循環型社会の形成・意識向上 / 担い手の確保 等
 - 国際的な環境問題への取り組み
 - 先導的役割 / アジア規模の物資循環 / 省エネルギー・代替エネルギー技術の開発・研究 / 広域的な海洋汚染対策の推進 等
 - 美しい九州を支える水循環系の形成
 - 流域圏における健全な圏土利用と水循環系の構築**
 - 水資源の重要性 / 社会資本整備 / 新たな水資源 / 担い手の育成
 - 海洋・沿岸圏土の総合的な利用と保全
 - 環境・生態系等の保全 / 閉鎖性海域への対応 / 担い手の育成 / 排他的経済水域等の問題 等

第3 新しい九州像（生活の安全と豊かな環境を目指す九州の姿）

- (1) 新しい圏土の形成に向けて
- 生活の安全と豊かな環境に関する基本概念
 - 生活の安全と豊かな環境に関する将来像
 - 生活の安全と豊かな環境に求められる視点

第4 生活の安全と豊かな環境を目指すプロジェクトの概念（作成例）

- (1) 九州圏のプロジェクトへの取り組み
 - ・プロジェクトの方向性
 - ・プロジェクトの果たす役割
- (2) 高速交通体系等の整備
 - ・東九州軸の活性化に向けた基盤整備
 - ・リダンダンシー軸を確保する国土軸の確保の推進
 - ・地域間連結の促進
- (4) 光ファイバーネットワークの形成促進
 - ・条件不利地域における基盤整備
- (5) エコネットワークの構築
 - ・静脈物流の重視とエコビジネスの振興
 - ・地球環境問題への対応
 - ・地域内の自然循環・関連を考慮した施策展開
- (6) 産業クラスターの集積と連携・関連の促進
 - ・環境クラスターの形成促進
- (7) 圏土の魅力向上促進
 - ・研究学園都市構想の推進
 - ・東アジアとの交流促進のための基盤整備
 - ・東アジアとの文化・学術連携・協力のための体制整備
 - ・景観の保全に関する官民連携の推進
 - ・県境を越えた行政間連携の推進

プロジェクト概念の記載例であり、審議未了のため今後検討すべき事項である。
また、プロジェクトの概念は中間レポート骨子案には含まない。